

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ごみ・資源の収集カレンダー等の発行	435,027	部	13,072
		清掃情報紙「ごみパックン」「ごみパックン中学生版」の発行	127,000	部	2,352
		清掃情報紙「できることからはじめよう」の発行	4,500	部	496
		その他(環境学習の開催ほか)			1,423
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」は、区民の意見等をもとに内容を精査し全世帯に配布しました。 清掃情報紙「ごみパックン」を隔月発行し、町会、スーパー等に配布しました。また、「ごみパックン中学生版」を区内公立中学校全生徒に配布したほか、児童向け清掃情報紙「できることからはじめよう」を区内公立小学校4年生全員に配布しました。 清掃車「ごみパックン号」や紙芝居を用いて、小学校等で環境学習を行いました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成12年度に清掃事業が東京都から23区に移管されたことに伴い、「杉並区の清掃事業」の発行を開始し、現在は隔年発行しています。17年度から「ごみパックン」の発行を開始しました。 平成20年4月のごみ・資源の分別方法の変更を契機に、分別方法の案内をカレンダー形式にし、21年から地区別に「ごみ・資源の収集カレンダー」を発行しています。 小学4年生には平成18年度から「できることからはじめよう」を、中学生には22年度から「ごみパックン中学生版」を発行し、年代に応じた内容でごみの減量等を周知しています。</p>
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>平成20年4月からごみ・資源の分別方法を変更しましたが、当初は複雑でわかりにくいという意見が多数寄せられました。分かりやすく、使いやすい「ごみ・資源の収集カレンダー」を作成し周知することにより、現在は区民に浸透してきています。ただし、カレンダー形式とすることについて賛否の意見があります。 清掃情報紙「ごみパックン」、「ごみパックン中学生版」、「できることからはじめよう」は大変わかりやすく、ごみの減量に対する意識の向上に役立つとの意見がありました。</p>
	今後の予測	<p>適正な分別の徹底と更なるごみの減量のためには、啓発活動について、なお一層の工夫が必要です。特に、若年層のごみ・資源の適正な分別及び排出マナーの向上を図るために、新たな啓発が必要であると考えます。</p>
	評価と課題	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」の作成にあたり、区民の意見等をもとに内容を精査しました。 清掃情報紙「ごみパックン」、「ごみパックン中学生版」、「できることからはじめよう」は、ごみの減量に関心が持てるようにイラストやデータを用いて、分かりやすく楽しめる情報紙として大変好評です。 今後も、ごみ減量の意義、適正な分別、処理経費の削減の必要性等を、あらゆる機会を活用し、区民及び事業者に働きかけを行います。</p>

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し
	<p>更なるごみの減量を目指し、あらゆる機会を通して、ごみの減量を地道に区民・事業者呼びかけていきます。 「ごみ・資源の収集カレンダー」は、収集日や分別方法等をわかりやすい内容にするとともに、経費について改善していきます。 若年層の適正な分別及びごみ・資源の排出マナーの向上を図るため、ごみ・資源の分別方法等がわかるスマートフォンアプリケーションを平成25年度に開発・運用する予定です。</p>		

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	ごみ・し尿の収集・運搬	款	6	項	1	目	3	事業	3	整理番号	444			
担当部課名	環境部ごみ減量対策課・杉並清掃事務所	係名	事業計画係			連絡先電話番号	3725			昨年度整理番号	452			
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進							予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標	施策	<input type="checkbox"/> 計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)					
	対象	○区内一般家庭 ○事業者(排出日量50kg未満)			内部管理	根拠法令等	(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物処理及び再利用に関する条例							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬します。 ○区民が利用しやすいよう、収集サービスの向上を図ります。					活動指標名(式)	(1) ごみ(可燃、不燃、粗大)の収集量 (2) 粗大ごみの収集点数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○区民等が分別し排出した可燃ごみ・不燃ごみを中間処理施設又は車両中継施設に搬入する。 ○粗大ごみは、受付、収集、中継所までの運搬及び日曜収集、中継所への区民持込を委託により実施する。					成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
	成果指標名(1)	(代)区民一人1日当たりのごみ排出量												
	算定式・指標の説明等	ごみ(可燃、不燃、粗大)の収集量÷杉並区人口÷365日												
	成果指標名(2)	(代)1トン当たりのごみ・し尿収集運搬コスト												
	算定式・指標の説明等	ごみ・し尿収集運搬コスト(事業費)÷ごみ収集量												
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	t	107,793	78,651	106,490	104,256	104,168	102,114	99.9				
	活動指標(2)	2	点	411,182	410,000	410,535	400,000	435,510	410,000	108.9				
	成果指標(1)	3	g/人・日	548	400	541	530	528	519	99.6				
	成果指標(2)	4	円/t	8,687	15,424	10,461	15,111	16,011	16,400	106.0				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	959,491	1,214,200	1,114,041	1,705,454	1,667,852	1,674,635	24年度予算執行率(%)	97.8			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7	千円	950,556	1,191,211	1,097,071	1,687,580	1,656,949	1,654,161					
	職員数	常勤職員数	8	人	170.27	154.36	160.83	152.77	167.23			148.75		
		再任用職員数	9	人	21.00	21.00	18.66	0.00	12.77	10.00				
		非常勤職員数	10	人				17.10	6.50	3.80				
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	1,518,808	1,373,804	1,431,387	1,329,099	1,454,901	1,294,125	活動指標(1)・成果指標(1)については、杉並区総合計画の目標数値より算出(平成25年度計画から)。			
		(内)再任用職員分	12	千円	61,950	64,680	57,473	0	50,186	39,300				
		(内)非常勤職員分	13	千円				47,025	17,875	10,450				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	2,540,249	2,652,684	2,602,901	3,081,578	3,190,814	3,018,510					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	23,566	33,727	24,443	29,558	30,631	29,560					
	財源	受益者負担分	16	千円	290,344	300,002	269,100	295,280	290,807	306,608				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	290,344	300,002	269,100	295,280	290,807	306,608					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	2,249,905	2,352,682	2,333,801	2,786,298	2,900,007	2,711,902					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	11.4	11.3	10.3	9.6	9.1	10.2						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 444

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		可燃ごみ・不燃ごみの収集運搬	309	日	1,302,961
		粗大ごみの収集運搬	361	日	289,000
		し尿の収集運搬	38	戸	7,414
		収集作業員人件費(臨時)	864	人	8,628
		その他(賃借料・委託料・消耗品購入 ほか)			
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>可燃ごみは前年度から約2%、不燃ごみは約6%減少しています。粗大ごみは約1%増加しています。</p> <p>ごみ量全体では減少していますが、平成24年2月からの杉並清掃工場の建替え工事に伴い、収集車両台数が大幅に増加したことにより、可燃ごみ・不燃ごみの収集・運搬経費が増加しています。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>可燃ごみ量 平成12年度 108,401t ⇒ 平成24年度 95,234t 対平成12年度比 約12%減</p> <p>不燃ごみ量 平成12年度 25,288t ⇒ 平成24年度 4,509t 対平成12年度比 約82%減</p> <p>粗大ごみ量 平成12年度 4,919t ⇒ 平成24年度 4,425t 対平成12年度比 約10%減</p> <p>総 計 平成12年度 138,608t ⇒ 平成24年度 104,168t 対平成12年度比 約25%減</p>
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>集積所管理は特定の利用者に負担が大きく、ごみを出す人のマナーなどによるトラブルが発生していることから、戸別収集を希望する声が多く寄せられています。</p>
	今後の予測	<p>ごみ量は、平成25年度に改定を行う杉並区一般廃棄物処理基本計画に基づく、ごみの減量や資源化の推進、適正排出のための具体的な取組などにより年々減少していきます。しかし、近隣関係の困難さや若年層・単身世帯の排出マナーの課題などから集積所数の更なる増加が見込まれます。</p>
評価と課題		<p>平成24年度の杉並区の区民一人1日あたりのごみ量は528グラムと、前年度と比較して13グラム減少しました。</p> <p>しかし、平成29年までの杉並清掃工場の建替期間中は、他区の清掃工場へごみを運搬するため、収集車両台数の増車が必要であり、より効率的な収集体制を早急に確立する必要があります。</p> <p>事業系ごみの収集においては、平成25年10月に廃棄物処理手数料の改定を行うため、適正なごみ処理券の貼付に向けた更なる周知・指導を行う必要があります。</p>

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し ○ 実施主体の見直し ○ 対象の見直し
	<p>収集コストの抑制のため、区民や地域活動団体と協働しながら、意識向上のための普及啓発や教育の充実を図り、更なるごみの減量を行っていくとともに、継続的な計画の進行管理を行い、ごみの量に見合った効率的な収集体制を確立していきます。</p> <p>また、粗大ごみや不燃ごみを資源化する仕組みについて検討を行い、金属等の売払による歳入の確保や資源の有効活用を努めていきます。</p>		

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		資源の回収			款	6	項	1	目	3	事業	5	整理番号	446		
担当部課名		環境部杉並清掃事務所			係名	資源対策係			連絡先電話番号	3317-6771			昨年度整理番号	454		
上位施策No・施策名		10 ごみの減量と資源化の推進			予算事業区分			既定事業								
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	11	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象		資源の排出者			内部管理		根拠法令等		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例						
	事業の目的・目標		(対象をどのような状態にしたいのか) ○再商品化が可能な古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装の資源物を分別収集することにより、ごみの減量化とリサイクル率の向上に結び付けていく。			活動指標名(式)		(1) 資源の回収量(行政回収分) (2)								
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順) ○ごみ・資源の集積所に排出された資源(古紙・びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装)を回収し、中間処理施設に搬入する。中間処理施設で選別・圧縮・梱包等した後、再商品化施設に引き渡し、再商品化する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)リサイクル率 算定式・指標の説明等 (区資源回収量+集団回収量)÷(家庭ごみ量+区資源回収量+集団回収量) 成果指標名(2) (代)資源の回収コスト 算定式・指標の説明等 資源回収コスト(事業費)÷資源回収量(区回収分)								
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度		計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)		1	t	32,642	53,233	32,464	32,693	32,372	32,325	99.0					
	活動指標(2)		2													
	成果指標(1)		3	%	26.6	47.0	26.8	27.3	27.3	28.0	100.0					
	成果指標(2)		4	円/t	61,361	37,899	60,250	66,437	66,910	68,507	100.7					
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	2,002,948	2,017,459	1,955,962	2,172,009	2,166,035	2,214,486	24年度予算執行率(%)		99.7			
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費		7	千円	1,990,081	2,004,190	1,944,624	2,159,564	2,154,937	2,192,612						
	職員数	常勤職員数		8	人	30.75	26.92	28.18	15.36	12.25	12.80					
		再任用職員数		9	人				0.00	1.01	0.00					
		非常勤職員数		10	人	3.84	1.00	1.01	1.00	0.50	1.00					
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	274,290	239,588	250,802	133,632	106,575	111,360					
		(内)再任用職員分		12	千円				0	3,969	0					
		(内)非常勤職員分		13	千円	11,328	3,080	3,111	2,750	1,375	2,750					
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	2,288,566	2,260,127	2,209,875	2,308,391	2,277,954	2,328,596						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	70,111	42,457	68,072	70,608	70,368	72,037						
	財源	受益者負担分		16	千円	206,022	236,540	276,888	282,288	231,880	158,138					
		国からの補助金等		17	千円	50,012	35,000	125,234	40,000	53,111	10,000					
都からの補助金等		18	千円	47,711	0	46,543	50,000	53,475	40,000							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	303,745	271,540	448,665	372,288	338,466	208,138							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	1,984,821	1,988,587	1,761,210	1,936,103	1,939,488	2,120,458							
受益者負担比率(16÷14)		22	%	9.0	10.5	12.5	12.2	10.2	6.8							

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 446

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		古紙・びん・缶の回収業務委託			643,592
		ペットボトルの回収業務委託			378,581
		プラスチック製容器包装回収事業			533,493
		中間処理委託(回収した資源の中から異物を取り除き、圧縮・梱包する)	5	種別	592,398
		その他(消耗品 ほか)			17,971
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装を区内全域で回収後、中間処理施設まで運搬し、選別・圧縮等の中間処理をしています。 また、資源の持ち去り防止対策として、新聞回収袋を区の施設約20箇所に置き、区民に提供するとともに、早朝回収及び早朝パトロールを行っています。平成24年度は、資源の持ち去り行為を繰り返す違反者に対して、刑事告発(2名)、氏名公表(25名)を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年6月からびん・缶・古紙を集積所で回収し、平成12年度の清掃事業の都から区へ移管以降はさらに平成18年10月から雑紙、平成20年4月からペットボトルとプラスチック製容器包装の集積所回収をはじめると、着実に行政回収が定着しています。 その反面、行政回収量は年々減少しています。また、区民からの集積所の分散の要望が増えていることによる集積所の細分化が進み、回収時間が長くなるなど労力の負担が増えています。 一方、市況によっては、資源が高額で売却できるため、資源(特に新聞)の持ち去り行為が起っています。 今年度より粗大ごみから金属類を回収し、売却しています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	小型家電のリサイクルなど集積所で回収するリサイクル品目の追加を求める声や、衣類回収の拡大、生ごみのコンポスト化事業に関する問い合わせが多くあります。また、資源の持ち去り行為に対して、さらなる取り締まりの強化を要望する声が多く寄せられています。
	今後の予測	リサイクル率を向上させるためには、区民にさらなる分別を徹底してもらうためのPR等周知と、資源回収品目の拡大が不可欠ですが、資源回収品目の拡大は、区民負担や費用対効果を考慮するとともに、民間事業者の行う再資源化の取組を見極めたうえで実施する必要があります。
評価と課題	リサイクル率は、若干向上していますが、更なる向上のためには、ごみのリデュース、リユース、リサイクルの「3R」の普及啓発や、資源回収品目の拡大が不可欠です。今後、普及啓発の強化や、資源回収品目拡大の具体化を図り、リサイクル率を向上していきます。 また、資源持ち去りパトロールなどの対策により、持ち去り行為者の数は減少し、リサイクル率向上に寄与していますが、根本的な対策として、持ち去り行為の常習者に車両等を貸し出している事業者などへの対策が課題となっています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	資源回収においては、あらゆる媒体を駆使して、区民に対し幅広くよりわかりやすい分別方法を周知し、さらなる分別の徹底を図り、リサイクル率を向上させます。また、資源回収品目の拡大については、区民の負担や費用対効果の観点から、慎重に検討しながら進めていく必要があります。 なお、若年の単身者世帯や外国人の世帯などは、制度自体の認知が低い状況にあるため、若年層に支持されている媒体を活用するとともに、ホームページの充実、宅建協会等集合住宅の関係団体との連携など、区民に対して幅広くごみ・資源の分別方法の情報を提供していきます。 資源持ち去り対策については、効率的にパトロールを実施していくとともに、早朝回収の強化と集団回収の拡大、支援の充実を図り、資源を持ち去りにくくする環境をつくります。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	ごみ・資源の排出の適正管理	款	6	項	1	目	3	事業	6	整理番号	447			
担当部課名	環境部杉並清掃事務所	係名	管理係			連絡先電話番号	3392-7281			昨年度整理番号	455			
上位施策No・施策名	10 ごみの減量と資源化の推進							予算事業区分	既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標	3	施策	10	計画事業	3	<input type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)
	対象	区民及び区内事業者並びに区内建築物所有者及び管理者			内部管理	根拠法令等							(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
					施設維持管理	(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○ごみの分別の徹底を働きかけ、カラス等による集積所の被害を防止するために区民等が取り組みやすく、より低コストで効果的な方策を探り、集積所の衛生状態や街の美観を保持する。							活動指標名(式)					
									(1) 廃棄物処理手数料の収納済額(動物死体処理手数料除く)					
								(2) 事業用大規模建築物への立入指導件数						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○事業系及び粗大ごみ処理手数料及び動物死体処理手数料の徴収を行う。 ○ごみ排出の適正化指導、集積所のカラス等による被害の防止対策、大規模建築物の所有者への排出指導などを行う。							成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
								成果指標名(1) カラス被害のある集積所割合						
								算定式・指標の説明等						
								成果指標名(2) モデル地区における黄色いごみ袋排出率						
								算定式・指標の説明等 (平成22年度でモニター事業を中止)						
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	千円	349,445	396,550	353,162	372,811	363,923	392,193	97.6				
	活動指標(2)	2	件	37	100	73	100	57	100	57.0				
	成果指標(1)	3	%	0.30	0.20	0.12	0.00	1.38	0.00					
	成果指標(2)	4	%	11										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	59,651	76,918	68,554	59,371	52,469	66,753	24年度予算執行率(%) 88.4				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7	千円	17,858	21,913	17,612	21,136	17,707	22,264					
	職員数	常勤職員数	8	人	33.43	30.76	35.51	35.70	36.84	35.00				
		再任用職員数	9	人	0.10	0.10	1.10	0.00	1.00	0.50				
		非常勤職員数	10	人				2.10	0.10	0.50				
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	298,196	273,764	316,039	310,590	320,508	304,500				
		(内)再任用職員分	12	千円	295	308	3,388	0	3,930	1,965				
		(内)非常勤職員分	13	千円				5,775	275	1,375				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	358,142	350,990	387,981	375,736	377,182	374,593					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,025	885	1,099	1,008	1,036	955					
	財源	受益者負担分	16	千円	12,314	13,879	12,360	13,048	28,112	30,485				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		18	千円	602	742	411	614	430	558					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	12,916	14,621	12,771	13,662	28,542	31,043					
差引:一般財源(14-20)	21	千円	345,226	336,369	375,210	362,074	348,640	343,550						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	3.4	4.0	3.2	3.5	7.5	8.1						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 447

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		有料ごみ処理券徴収事務委託	319	店	12,464
		動物死体処理委託	990	頭	2,550
		折り畳み式ごみボックス(1,040台)、カラスネット(1,500枚)	2,540	台	21,392
		その他(ごみ処理券印刷、大規模建築物指導、ふれあい指導用消耗品ほか)			16,063
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>○ごみ資源集積所で、カラスによる被害防止を図るため、折り畳み式ごみボックス、カラスネットの配布及び交換を継続して行い、道路、町の衛生保持、美観の向上に努めています。</p> <p>○事業系有料ごみ処理券貼付の適正化に向けて検討を行い、継続的に商店会等の集中指導(訪問指導)を行った結果、平成24年度は、前年度有料ごみ処理券の交付枚数を上回りました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>○平成20年度からは、サーマルリサイクルを開始し、不燃ごみのうち廃プラスチックや皮革製品などが、可燃ごみへ分別変更されるとともに、新たな資源の分別としてプラスチック製容器包装、ペットボトルが加わり、古紙も分類に雑がみ加わるなど、ごみ減量のための資源化が図られています。</p> <p>○相隣関係の困難さやごみ排出適正化の推進、狭小路地地区へのきめ細かなサービスを提供するなど、ごみ資源集積所の分散化が年々進んでいます。</p> <p>○杉並清掃工場の建替えに伴い、可燃ごみの全量を他清掃工場へ搬入しています。</p>
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>区民の環境への関心が高まっているなかで、ごみ・資源集積所の管理や、ごみ・資源の分け方・出し方に関する質問や要望・苦情も多くなっています。</p>
	今後の予測	<p>区民や事業者から、ごみの出し方や集積所の管理等に関する問い合わせが、今後も続く予測されます。</p>
評価と課題	<p>ごみ量は、ごみの分別の徹底や資源化の推進により、年々減少の一途をたどっています。しかし、若年層や単身世帯への分別方法の周知及び更なるごみの減量、資源化の促進に課題があります。また、事業者への事業系有料ごみ処理券の貼付の周知・指導により、交付枚数の低下がとまりました。事業者への理解と協力を得ながら継続して周知・指導した交付枚数及び貼付率の向上を図ることが課題です。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	<p>ごみの減量のためには、ごみ・資源の分別の徹底と排出者責任を明確にすることが重要です。今後とも、資源回収品目の拡充によりごみ減量を推進するとともに、事業者に対し、貼付の周知・指導を継続して実施し、事業系有料ごみ処理券の適正な貼付を図っていきます。</p> <p>また、平成25年度から、「杉並版ごみ出しアプリ」を開発、運用し、環境問題に関心の薄い若年層や単身世帯への分別方法の周知を図り排出マナーを向上させていきます。</p> <p>さらに、ふれあい収集の際に、ごみが出ていない場合に声かけをするなどして、対象者の安否確認を行っていきます。特に夏場の熱中症対策の一環として、安否確認を強化していきます。</p>					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 448

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		集団回収団体報奨金支払い	401	件	40,875
		コンポスト容器購入費助成	72	件	169
		生ごみ処理機購入費助成	62	件	1,198
		その他(集団回収事務委託等)			10,293
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	集団回収については、平成23年度実績から活動団体が15団体、回収量も3%増加しました。コンポスト容器・生ごみ処理機の購入費助成は、補助件数が増加し、過去3年間で一番多い件数となりました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	集団回収量は、平成21年度以降は減少していましたが、平成23年度以降再び増加しています。平成22年度から生ごみ処理機の申請方法を抽選方式から先着順に変更しました。コンポスト容器・生ごみ処理機の購入費補助は、平成21年度以降、補助件数が減少していましたが、平成24年度に補助要綱を改正し、補助対象を拡大しました。これにより補助件数が増加しました。		
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	集団回収については、意見交換会の中で常に支援内容の拡大を求められています。生ごみ処理機は比較的高額であることから、1件当たりの助成額の増額の要望が寄せられています。		
	今後の予測	集団回収は、制度のPRや支援策の充実を図ることにより、実施団体数が増え、回収量も増加していきます。コンポスト容器・生ごみ処理機の購入費補助は、より活用しやすい補助制度とすることで、補助件数が増加していきます。		
評価と課題	集団回収については、全体の回収量は増加していますが、団体ごとの回収量は減少傾向にあります。今後も活動団体を拡大していくために、制度の周知方法や、現在活動中の団体が集団回収を継続していくための支援策を検討します。コンポスト容器・生ごみ処理機の購入費補助については、堆肥等生成物の流通等の方策や、その他の生ごみ減量手法への助成方法の検討を進めます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他		
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input checked="" type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し
集団回収は町会や集合住宅、PTAなどの既存の団体に対し、個別に働きかけをするとともに、制度を周知するための更なるPRを実施します。コンポスト容器・生ごみ処理機の購入費補助は、堆肥等の生成物の回収・流通方法について、地域活動団体との協働の視点で取組を行う方策も検討し、確立することで普及を図ります。また、過去の補助対象者のアンケート調査等を行う等、より活用しやすい助成制度としていきます。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 451

24年度の事業実施状況		内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		(1)主な取組み	清掃車維持管理(自動車用燃料)	46	台	13,899
			車両点検整備	20	台	12,622
			維持管理経費 一般需用費・役務費・保険料・公課費ほか			1,765
			その他()			0
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	○ 車両点検整備実績 ① 3ヶ月点検 35台 ② 6ヶ月点検47台 ③ 12ヶ月点検19台 ④架装点検 193台 ⑤ 車検事前点検 28台					

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題		これまでの各種講習会のほか、22年度からは、警視庁交通安全教育センターでの講習会を実施し、安全運転に対する意識向上を一層図ることができました。 清掃車両の保有台数については、清掃車両のコストを考慮し、年々減少しているごみ量に応じた減車を図ることとし、委託化等により効率的かつ機動的なあり方を引き続き検討していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡充	○ 現状維持	○ 縮小	○ その他
		II 事業の方向性	○ 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	杉並清掃事務所の維持管理			款	6	項	1	目	4	事業	2	整理番号	452		
担当部課名	環境部杉並清掃事務所			係名	管理係			連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	461			
上位施策No・施策名	10	ごみの減量と資源化の推進			予算事業区分			既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input type="checkbox"/>	実行計画事業目標			施策	<input type="checkbox"/>	計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	12,615.34㎡(本所-784.70㎡(S41.6竣工)、下井草分室-602.96㎡(S58.9竣工)、旧杉並中継所-6890.31㎡(H8.3竣工)、方南支所1875.64㎡(S53.12竣工)、事業所2461.73(H12.1竣工))			内部管理		根拠法令等	(1) 消防法 (2) 建築基準法							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○建物や設備等を適正に管理し、安全で機能的な執務環境を確保する。			施設維持管理	1	活動指標名(式)	(1) 電気使用量 (2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○杉並清掃事務所、下井草分室、方南支所、杉並清掃事業所及び旧杉並中継所の庁舎等の維持管理と運営を行う。			成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
	成果指標名(1)														
	算定式・指標の説明等														
	成果指標名(2)														
	算定式・指標の説明等														
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1	kwh	1,109,410	1,087,221	868,010	850,649	892,524	850,000	104.9					
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	115,471	173,242	164,272	104,297	95,857	113,760	24年度予算執行率(%)	91.9				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	51,923	90,220	88,724	41,712	40,304	43,228						
	職員数	常勤職員数	8	人	6.18	6.01	6.14	5.70	5.97	5.60					
		再任用職員数	9	人				0.00	1.00	0.50					
		非常勤職員数	10	人	2.00	1.50	3.00	3.00	1.01	1.20					
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	55,126	53,489	54,646	49,590	51,939	48,720					
		(内)再任用職員分	12	千円				0	3,930	1,965					
		(内)非常勤職員分	13	千円	5,900	4,620	9,240	8,250	2,778	3,300					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	176,497	231,351	228,158	162,137	154,504	167,745						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	159	213	263	191	173	197						
	財源	受益者負担分	16	千円	8,473	7,336	8,168	7,336	8,968	13,600					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	8,473	7,336	8,168	7,336	8,968	13,600						
差引:一般財源(14-20)	21	千円	168,024	224,015	219,990	154,801	145,536	154,145							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	4.8	3.2	3.6	4.5	5.8	8.1							

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 452

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		保守管理委託費	5	所	37,848
		光熱水費	5	所	47,165
		維持管理経費	5	所	6,214
		施設等整備費	5	所	4,630
		その他()			0
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	老朽化が進んでいる各清掃施設について、計画的に修繕・工事を行い、快適な執務環境の維持に努めてまいりました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題	清掃施設の老朽化に伴い、設備の不具合など、年を追うごとに顕著になっています。二年前の東日本大震災では、多くの職員が身の危険を感じた状況でした。平成4年に行った耐震診断の結果、安全なIS値を満たしておらず、首都圏に大規模な震災が発生した場合に損壊する恐れがあるとも言われており、早期の対策が課題となっています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	